広報 たかのす
発行所　鷹巣町役場町長室
電話（代）550番　直通42番
（発行部数 5,850部）
印刷所　秋北新聞社

葉イモチしめ出し
穂首でしめる
＝部落ぐるみで防除を＝

ことしは、豪雪のため、苗代適期の遅れに続いて異状気象という悪条件とたたかいながらの稲作となり、農家の皆様にはその対策にけんめいの努力を続けておられることですが、現在も予断を許さぬ気象状況のなかありますので、今後も病虫害対策にいっそう努力され、万一の被害を最低限にくいとめることがもっとも大切です。八月の稲作管理についてぜひ実施していただきたいことを掲載しました。

八月の農作業のポイント

①首イモチ病の防除
〔出穂直前散布〕
②枝梗イモチ病の防除
〔穂揃期散布〕
③防除作業の共同一斉実施

ことしのイモチはどうだろうか

七月に入ってからの平均気温は、七月三日以来月末まで連日平年気温を下まわり（図1）また日照時間も七月十日以降の第二旬、第三旬と平年を下まわっております（図2）。

六月中に順調な生育を続けた水稲は、急にペースを変えて一転に弱々しい生育になりました。この姿は昭和三十八年の七月二十七日までの水稲の生育状況とぴったり一致しております。

〔図1〕および〔図2〕で点線で示したように、八月に入って急に天候が回復すると、三十八年と同様。

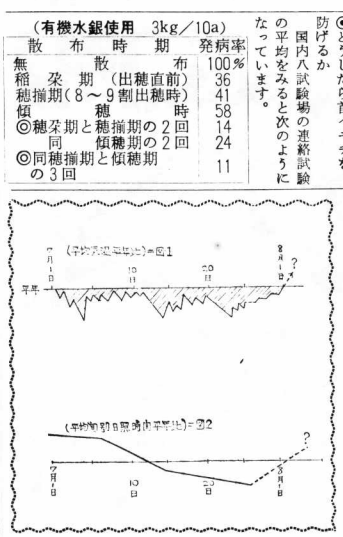
首イモチの激発が予想されます。

◉どうしたら首イモチを防げるか

国内八試験場の連絡試験の平均をみると次のようになっています。

（有機水銀使用　3kg／10a）

散布時期	発病率
無散布	100%
稲朶期（出穂直前）	36
穂揃期（8～9割出穂時）	41
傾穂時	58
◎穂朶期と穂揃期の2回	14
同　傾穂期の2回	24
◎同穂揃期と傾穂期の3回	11



＜防除適期＞

穂朶期と穂揃期にかならず二回

◉一斉共同防除はどうすればできるか

イモチ菌胞子には戸籍はありません。どこの家のイネにも遠慮せずに付着し病気をおこします。そのために一斉防除がもっとも有効です。

〔その方法〕

①部落ぐるみ、一定の日を決め、各戸が一斉に出役し各自の水田に薬剤散布する方法（動力、手動散布機を使用）

②①と同じですが、面積の少ない人は多い人の水田に手伝い、その分の労賃を受ける方法（動力、手動散布機）

③部落の数人が防除を請負う方法（動力散布機、動力噴霧機を使用）

④農協、農業共済組合などが大型機械を使用して請負う方法（大型防除機使用）

〔その時期〕

①なるべく汗をかいた肌に薬をつけないこと。

②鼻や口から吸い込まないようにすること（マスクをする）

③ブラエスM剤の場合は眼をいためるおそれがあるので、必ず防塵メガネをかけること。

④真昼間の高温時は、身体のつかれがはげしく、めまいや息切れを起こしやすいので、できるだけ避けること。

⑤薬は必ず十ｱｰﾙ当三ｷﾛｸﾗﾑまたはそれ以上かける。

〔散布の時間〕

①風がなく、下降気流のある時がのぞましい。（したがって朝方か夕方となる）

②穂揃期散布の場合は、稲の開花時間（午前十時から午後三時過ぎまで）をさける

③薬害の発生は、一カ所に多量の薬剤がかかった時および粉剤の場合は、薬に水滴のある場合なので雨中散布を心要とするほど緊急の場合以外は露のある時は避ける。（従って夕方がのぞましい）

〔散布時の注意〕

①なるべく汗をかいた肌に薬をつけないこと。

②鼻や口から吸い込まないようにすること（マスクをする）

③ブラエスM剤の場合は眼をいためるおそれがあるので、必ず防塵メガネをかけること。

④真昼間の高温時は、身体のつかれがはげしく、めまいや息切れを起こしやすいので、できるだけ避けること。

⑤薬は必ず十ｱｰﾙ当三ｷﾛｸﾗﾑまたはそれ以上かける。

▽第一回一斉防除
早生‖穂朶期
中生・晩生‖最後の葉イモチ防除

▽第二回一斉防除
早生‖穂揃期
中生・晩生‖穂朶期

第三回一斉防除
早生‖傾穂期
中生・晩生‖穂揃期
（個別防除または中生、晩生が多い場合）

長期天気予報

秋田地方気象台は七月二十日、本県の八月から十月の長期天気予報を発表した。それによると八月初旬は、夏型の高温になるが前線の影響で長続きせず、全般的に気温は平年並かやや低めで、いぜん稲作にとって楽観できない気象となる。

また九月から十月前半にかけて低温が現われやすく、八月から九月にかけ二～三個の台風が本土に影響しそう。

▽気温‖八、九、十月とも平年並みかやや低めの高気圧の影響で早冷の月初旬は、夏型の高温になるが前線の影響で長続きせず、全般的に気温はやや低めで、

▽降雨量‖八月の総雨量は平年より多く、日照りは少なめ。上旬を除きくもりや雨の日が多く台風の影響で局部的に大雨がある。九月は平年並みか少なく十月は晴れの日が多く、雨は全般的に少なく目。

八月上旬は高温の時期があるが、九月は大陸からの高気圧の影響で早冷のおそれがある。十月は山岳部で早めの初雪がありそう。

昭和40年産 米穀の集荷について

政府は七月六日の閣議で昭和40年産の米穀の集荷が大型機械を使用して請負う方法（大型防除機使用）について次のとおり決めた。

四十年産の米穀の集荷は事前売渡申込制による。

生産者の自主的な売渡申込みを促すため、申込時に買入代金の一部概算払（玄一五〇キログラム当り二五〇〇円入六〇キログラム当り一〇〇〇円）を行ない

第二次受付は八月三十一日まで。

県の記念日が制定されました

8月29日

県では今年度から八月二十九日を「県の記念日」と定めました。この日は旧暦明治四年七月十四日、廃藩置県の布告で秋田県が設置された日です。

この制定の趣旨は、秋田県の誕生した日を「県の記念日」とし、この毎年きまった日を県民がこぞって記念して、県民一人一人の自治意識を高め、豊かな住みよい秋田県を築くためにおたがいに力をあわせようという考えを新たにするということであります。

この日を意義ある日とするため、県では記念行事として式典をはじめ、明るい社会づくりのためにかくれた善行をなした方を表彰することにしており、また各市町村の協力を得て、県開発事業の実地見学等を実施することにしております。

交通事故で被害を受けたときの相談は

自動車による交通事故で死亡、受傷などの被害にあった場合、保険制度によって教済保護されることになってますが、それを知らない人達のために力になってやりたいと、次のところに「自動車損害賠償責任保険請求相談室」が開設されましたのでご利用ください。

秋田市山王四丁目二の三
秋田県自治会館内
自動車保険料率算定会
自動車損害賠償責任保険秋田査定事務所
電話秋田②ー七四九四

公営住宅　南鷹巣に二戸建　四棟建築

昭和四十年度分公営住宅第二種木造平屋建二戸建・四棟八戸を七月二十七日役場で入札した結果、鷹巣町北秋建設が三百五十九万九千五百円で南鷹巣団地に建設することになりました。

同住宅の床面積は一戸当三一・八六平方㍍、平屋建屋根はカラー・トタン、外部はモルタル仕上げでモダンな住宅が四棟八世帯分が完成の予定です。

入居は竣工検査した後、入居希望者を募集し抽選によって入居する。

楽屋被服鷹巣工場
勤務社員を募集しています

今春、わが町に縫製工業のメーカー・楽屋被服株式会社が誘致決定になり、現在、男女五十名が行田市の本社で技術指導を行なっております。

鷹巣工場は、すでに現綴子小学校校舎（綴子上町）が決定になり、明春四月ミレーパン、学生服を主体に操業することになっていますが。鷹巣工場長には、同社管理部長吉野勉氏が就任します。

■申込みは職業安定所へ

▽東京営業部
高卒　男子五名
▽本社見習社員
高・中卒　男子五名
▽同　一般、中卒以上
女子四十名
▽鷹巣工場
一般、中卒以上
四十名

■募集人員は

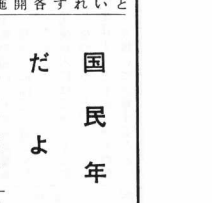
◎本社・鷹巣工場とも宿泊施設あります。

国民年金だより

昭和四十年五月三十一日に国民年金法の改正により、障害年金および障害福祉年金の支給範囲が次のとおり拡大されましたので、該当すると思われる人は、町民課年金係におたずねください。

改正後の該当傷病名（精神障害分だけ）

精神分裂病、そううつ病非定型精神病、てんかん（真性てんかん・症状てんかん）、中毒精神病（アルコール中毒・一酸化炭素中毒）器質精神病（頭部外傷後遺症、脳炎後遺症、進行麻痺、老人精神病脳血管）疾患、錐体外路性疾患、精神薄弱（精神薄弱については、精神能力の全般的発達に高度の遅滞があり適当な介護がなければ、日常生活の用に弁ずることが不能である程度のもの）



役場日誌 ⑥

〈7月〉

3日　参議院議員選挙日
5日　農業委員会
7日　農業共済組合役員会
8日　農業青少年育成協議会
10日　鉱害対策小委員会
12日　綴子小建築促進委員会
13日　土木建設業者指名協議会
14日　農業研究会
15日　例月監査（16日まで）
16日　建設省米代川潰地説明会
17日　土木委員会、定例教育委員会
20日　農地報償関係説明会
22日　民生委員協議会
23日　町臨時議会、鉱害対策委員会、開拓道路入札
24日　民生委員推進委員会
26日　鉱害対策委員会
27日　品類林道入札
28日　公営住宅入札
29日　土木委員会
　　国庫調査

出かせぎ者に就労手帳を交付

町出かせぎ相談所（町長室内）では、町内から出かせぎされるかたに「出かせぎ就労手帳」を無償で交付します。これから出かせぎ先での事故防止と、るす家族の不安をなくすためにもぜひ就労手帳を受けるようにして下さい。就労手帳を受けている人には、昨年町広報を送り、町内の出来ごとをお知らせして大変喜ばれました。

41年度県民手帳

【予約】【受付】【付】【中】百円
申込みは役場総務課へ

全町民のつどい

第3回 町民体育祭

8月29日・町営グランド

に国・県の社会体育モデル地域指定をうけており、この町民体育祭がいっそう意義のあるものにもりあげるために、全町民の参加をのぞんでおります。

開催のおもな内容は次のとおりです。

▼期日　八月二十九日雨天などで実施できない場合は九月五日。

▼会場　鷹巣町営グランド（鷹巣中学校）

▼時間
入場　八時四十分
開会式　九時十分
競技開始　十時
閉会式　二時三十分

▼参加対象　小・中・高校（児童・生徒）、一般町民

▼地区の設定
七座、拐沢、綴子、沢口
七日市、栄、鷹巣一区、鷹巣二区

▼競技方法　各地区対抗

▼表彰　各種目　三位まで賞品。総合（地区別）三位まで賞品、賞状。応援賞三位まで賞品、賞状

▼種目
婦人会百M▽青年・壮年百M▽河田杯マラソン▽婦人会四百R▽青年男八百R▽青年女四百R▽壮年四百R▽夫婦四百R▽三百才男子五百R▽同女八百R▽親子四百R▽混合六百R▽たばこ八百R▽びんつり競走▽玉入競技▽ボール送り▽二人三脚▽商工会・農協仮装行列▽高校（鷹農）マスゲーム▽鷹中マスゲーム組体操、徒手体操▽鷹小鼓隊パレード▽婦人会マスゲーム▽中学校各地区出身地区対抗R▽同百M▽一般俵かつぎ▽一般百M選手権（推せん）

注・R＝リレー

【大会に美をそえる婦人会マスゲーム】

商工青年学級開講

商工業に従事している青少年を対象に、職業的知識技術や教養を習得させるため、商工青年学級（商業コース）を開くことになりました。開講式は七月二十八日午後二時から鷹巣公民館で学級生二十名の参加で行なわれ、町長、県教委、商工会長らの祝辞があり、秋田経済大学助教授横山幸一氏の講演「中小企業の諸問題と商店経営について」があった。

商工青年学級は、鷹巣町公民館と鷹巣町商工会が実施機関となり、町内の商工業に従事している一五才から三十才までの男女が対象。学習時間は百十時間、一般教養、職業、移動研修、体育レクなど毎月第一・二日曜日、第三・四水曜に開かれる。なお、出席率八〇％以上の精勤者には表彰する。

本年度は明年三月十三日で閉講することになっています。

▼商工青年学級だより

◎八月十八日（水）午後六～八時
○講話　商業上必要な民法について　講師　相馬準一氏
○体育レク

◎八月二十五日（水）午後六～八時
○簿記　計算実務、会社の資本、資産、負債について　講師　鷹農教諭　高橋茂好
○体育レク

良い子へおくりもの
鷹中プール完成

鷹巣中学校のプールが完成、七月二十六日修放式とプール開きが行なわれました。

このプールは総工事費七百十五万円、二十五㍍・八コース（幅十六㍍）、深さ一・一㍍～一・三㍍そのほかに男女別の更衣所、足洗場、シャワー、洗眼所、浄化装置などが完備され、プール本体工事は組立（プレハブ）特殊工法がとられ、県下でもめずらしい、りっぱなものです。

プール開きの日、生徒たちは待ち切れぬように満々とたたえたプールに飛び込み、大はしゃぎでした。

なお鷹中プールを一般町民に開放するため、町教育委員会で町民体泳の目的から一般使用を認め、毎週日曜日午前九時三十分から十一までと午後二時から四時までの二回開放する。使用日には、水泳協会が水泳指導の監視にあたりますが、大いに水泳を楽しむよう望んでいます。

【写真＝㊤修放式㊦シャワーをあびてプールへ……】

広報板

中小企業退職金共済融資について

中小企業退職金共済制度に加入している事業主は、施設整備に必要な資金の融資を受けられます。また、法人格を有し、共済制度に加入している事業主が原則として構成員の二分の一以上を占める協同組合などの団体も融資が受けられる。

実施要領は次のとおりです

①貸付対象となる施設
イ 労働者住宅（社宅または寄宿舎等、労働者のための住宅）
ロ 保護施設（衛生室、体育施設、浴場、洗面所、理髪室等）
ハ 給食施設（食堂、炊事場等）
ニ 教養文化施設（会館集会所等）

②貸付金の使途
布設の新設、増築、または改築に必要な資金。住宅の場合を除き、設備、備品の購入に必要な資金土地の取得に必要な資金

③貸付限度額
企業内施設　原則として一千万円以内
共同施設　五千万円以内（いずれも所要額の七割以内）

④利率および償還期限
利率　年八分五厘
償還期限　原則として五年以内（特に必要あるときは十年以内）

⑤償還の方法
三カ月または六カ月毎の元金均等の割賦償還とし利息も同時に払い込むこと。

⑥保証人と担保
連帯保証人は二名以上、担保は、この貸付金で建設または取得した不動産のほか、必要に応じ既存の不動産

⑦借入申込及び受付期間
申込受付期間　七月一日から九月三十日まで
受付金融機関
商工中金秋田支店

⑧その他
○商工中金の組合員でなくとも申込みできます。
○申込用紙は商工中金秋田支店および県労政課、各労政事務所に用意してあります。

◎この退職金共済制度について、くわしいことは、鷹巣町商工会へお問合わせください。

民有林造林コンクールを行ないます

第一回鷹巣町民有林造林コンクールを次の要領で行ないますので申込んでください。

▽主催　鷹巣町、鷹巣町森林組合
▽実施期間　八月から十一月まで
▽参加資格　民有林のうち農家林業家で私有林の森林造成者。ただし、展示されている森林を除く。
▽参加林分の基準
1樹種　スギの人工造林地
2面積　○・二㌶（二反歩）以上の一団地。
3林令　植付後五～十年目の林分。
▽参加申込　8月10日まで
▽申込先　鷹巣町役場農林課　鷹巣町森林組合
▽表彰及び式　昭和40年11月下旬表彰式を行ないます。

家畜商講習会

家畜商法の規定に基づく昭和四十年度家畜商講習会を実施することになりましたので、受講希望者は次の要領で申込み申請してください。

実施日時　8月26・27日午前9時から
場所　北秋田畜産組合会議室
申込み先
申込み申請書は北部家畜保健衛生所に提出すること。
受講申込み期日　8月15日まで
講習手数料　五百円（受講申込みとともに納付すること）
農林課

献血協力者芳名　続

▽鷹巣女子学院
明石幸子、高橋通子、七尾貞子、松尾紀子、荒川節子、工藤トモエ、佐々木タキ子、北林正子、小塚恵子、金田定子、高田克子、高橋幸子、松田好子、山形礼子、佐藤ヒデ子、佐々木弘子、秋元憲子

読書座談会

鷹巣町読書会では、読書の向上を図るため読書座談会を開催します。

とき　8月24日午後1時から4時まで
ところ　鷹巣町公民館
内容　読書の色々の問題
申込先　公民館内鷹巣町読書会宛に職業・年令・氏名をお知らせ下さい。

＝農協だより＝

七日市農協では、イモチ病共同防除を行なう場合、一回分にかぎり機械の燃料費の全額補助を行なっています。申込みは同農協へ。

―あなただけ――お読みください―

☆ことの起こりは内緒から☆

だれでも他人さまのすることは、してみたいもの。とくに自動車の運転をしてみたい、という気持ちは、よくわかります。

しかし―**無免許運転**だけは、あなたにおすすめすることはできません。「しまった！」ではすまされないことになりますから―事故を起こすと人を殺すか、自分が死ぬかどちらかです。ちょっと内緒で運転を……なんてケチな根性は、まちがっても起こさないようにー。

〔秋田県けいさつ広報から転載〕

危ない花火遊び

梅雨があけ、いよいよ汗のにじむ夏になると、ゆかたをきて、夏の夜をすごすことが多くなってきます。そのとき、よく楽しみに使われるのに花火がありますが、ちょっとした不注意で火災となりとり返しのつかないことになることがよくあります。

家庭で花火を楽しむ時には、とくに注意し、子どもたちだけで花火遊びをしている時には、おとなが付き添うようにしなければなりません。

こどものいる家庭では、次のことがらにじゅうぶん注意するようにしてください。

①花火遊びをする時は、おとなが付添うこと。
②周囲に燃えやすいものがある場所では、花火をしないこと。
③風の強い日とか火災警報発令中には花火遊びをしないこと。
④後始末にはじゅうぶん気をつけること。
⑤夏休みを反省しましょう
⑥家庭の日の作文をかきましょう。

特にこどもたちには、マッチやライターなどを取り扱わせないこと。またふだんからマッチなどの置場所について、子どもの手のとどかない所など、置場所に留意すること。

15日は「家庭の日」

八月十五日は、「家庭の日」です。家族みんなで、次のようなことをしてみたらいかがですか。みんなで話しあってきめてください

○両親や祖父母のお話をききましょう。
○夏休みを反省しましょう
○家庭の日の作文をかきましょう。

くらしの知恵

ハム・ソーセージは腐敗しやすい

……切り口が変色したり、ねばりがある品は危険です包装の上から押してみて弾力のあるもの、製造年月日がいれてあるもので一カ月以内のものは一応安心して食べられます。早めに食べることも大切。冷蔵庫の過信はいけません。安物はまざりものが多いことを知っていてください。

ビタミンを十分に

赤ちゃんの発育にビタミンは必要です。ことに人工栄養のときはビタミンCを与えなければなりません。またビタミンAやDも発育に欠かすことはできません。ビタミンCは果汁にはいっていますが、総合ビタミンを用いるほうが、ほかのビタミンもはいっており便利でしょう。

よく出る母乳にはビタミンは十分はいっておりますお母さんが栄養をとっていれば赤ちゃんのビタミン不足を心配する必要はありません。また育児用粉乳には必要なビタミンが加えられていますからミルクを十分飲んでいればほかにビタミン剤を飲ませないでもよいのです。

ビタミン剤を飲ませても食べ物を食べなければ太りません。栄養剤を飲ませているからと思い違いしているおかあさんはいませんか

係から

広報は八月十五日が発行日ですが、本号は五日くりあげて発行しましたのでご了承ください。

なお広報紙に対するお気付きの点がありましたら係までお寄せ下さい。

新協力委員紹介

西仲通　河田与一郎（鷹巣）